

雨漏り修理報告

平成13年10月23日

施工：桜田板金工業所

～ はルーファンの端部納めのビス留めがゆるみ
間に入れるはずのコーキングがパッキンが無く明らかに雨水が
入っていた跡がありました。

屋根板と鉄板の間に専用プライマーを塗り
変性シリコンコーキングを塗り新しくビス止め
し、更にコーキングを上塗りして劣化防止用の
アルミテープを貼り修理完了



漏っていた跡



のファンの北側の水上部のエプロン面戸にコーキングし
塗ってあり少しづつ入った雨水の出口がふさがれ中には
いっぱい水が入っていました。（下に出ているシミは大量
の雨水が出た跡です）
次からは入った水もこの穴から出てしまいます。

この場所も左上の写真の様に漏っていましたが
上の様に処理をしました。



漏っていた跡

第三工場と第四工場の境からの雨漏り

水上からの雨漏りと取合い納めの両側のコーキングより雨漏りしています。 下の様に水上部からは漏らない様に施工しましたが、これでは不十分なのでもう一度この上に取合い笠木をかけないと雨漏りを完全に止められないでしょう。



の部分の屋根ケラバ包みが劣化していました。
おそらく、ここから雨漏りしていたと思います。
(確実にここだとはいえません、降雨時に確認願います)

ここからは、漏れない様にしてありますので、
もし次に漏ってもここからでは無く、別の場所
と言うことになります。

